

# 春日会

第20号 第39号

発行所  
高松大学同窓会  
高松短期大学同窓会  
香川県高松市春日町960  
TEL 087-841-3255(代)  
FAX 087-841-7158

## Contents

■高松大学同窓会25周年を迎えて…	1
■同窓会総会ご案内…	1
■高松大学同窓会25周年を迎えて…	2
■高松短期大学同窓会会長の 就任にあたって…	2
■同窓生へメッセージ…	2
■部会報告…	3
■大学祭ご案内…	4
■各種講座のご案内…	4
■入学センターからのお知らせ…	4

## 高松大学同窓会 二十五周年を迎えて



高松大学  
高松短期大学

学長 佃 昌道

卒業生の皆様には家庭や職場で日々活躍のことに存じます。

平成十二年三月に経営学部第一期生で設立された高松大学同窓会も本年で二十五周年を迎えることとなりました。

高松大学は平成八年四月、香川県や高松市の協力のもと、県都高松市における唯一の私立四年制大学として開学以来、併設の高松短期大学、認定こども園高松東幼稚園とともに、地域の教育研究と地域貢献を中心に、地域の発展に努めてまいりました。

顧みますと、平成五年頃から、県内高校生の大学進学率が高まり、香川県、高松市及び地域の産業界などの要望もあり、平成八年に、対話にみちみちたゆたかな人間教育を行う四年制大学として、屋島を望むこの春日の地に高松大学経営学部が開設されたのです。

爾来、建学の精神のもと、社会の変化や地域の要望を踏まえて、改組や学科名称変更を経て、現在は経営学部(経営学科)、発達科学部(子ども発達学科)の

二学部、大学院経営学研究科を有し、これまで約三千人の卒業生・修了生を輩出してきました。こうして、四半世紀にわたって教育と研究、地域貢献の歴史を刻むことができたことは、ひとえに卒業生の皆様の社会でのご活躍のおかげと感謝申し上げます。

現在、卒業生の皆様は一人お一人、それぞれのステージで元気に活躍されていることと存じます。私は平成十年から経営学部で教鞭をとり、平成十六年に学長に就任しました。この間、在学生の成長を目の当たりにすること、そして夢を実現した卒業生の便りを聞くことが一番嬉しく思っています。時には大学に入学し、私に会いに来てくれる卒業生も多くいます。夢の実現には時間がかかることもありますが、早いか遅いかは決して重要ではありません。ひとつの夢が実現できたらずい母校にご一報ください。

高松大学、高松短期大学では、令和二年度から十年間の見通しを踏まえ、将来のあるべき姿を描き、本学が取り組む内容を示した「Vision 2030」対話と実践が未来を拓く」に基づき、これからも、自分たちに今、何ができるのかを考え、学生の学びが安心・安全であることを第一に、社会や地域を担う人材づくりに努め、教育研究や生涯学習機能を一層充実し、卒業生や地域の皆様から愛される大学づくりを行ってまいります。また、受験生から選ばれる大学、後輩に勧めたい大学として持続可能な大学をめざします。そのためには卒業生の皆様のお力添えなくして実現することはできません。高松大学、高松短期大学を卒業された皆様の母校を愛する心とご支援こそがそれを実現してくれるものと思っております。特に加速する少子高齢化の中、十八歳人口は激減し、本学を取り巻く環

境は非常に厳しいものがあります。特に地方の小規模な私立大学にとっては逆風が吹き荒れる中、非常に厳しい時代ではありますが、これからも引き続きなにとぞ母校へのお力添えをよろしくお願い申し上げます。最後にになりましたが、同窓会のさらなる発展と皆様の益々のご健勝、ご多幸を祈念いたします。

## 高松大学同窓会 25周年記念祝賀会ご案内

高松大学同窓会は設立25周年を迎えました。これを記念して、記念祝賀会を開催します。祝賀会には、これまでお世話になった先生方をお招きします。この祝賀会が多くの卒業生の集いの場、懐かしい方々との交流の機会となりますよう、皆様お誘い合わせのうえ、多数のご参加をお待ちしております。

- 日 時 令和7年2月23日(日)13:00~15:00  
(受付開始 12:00)
- 場 所 JRホテルクレメント高松 3階「玉藻」  
(香川県高松市浜ノ町1-1)
- 会 費 4,000円
- 申込方法 後日郵送する案内文をご確認ください。

## 高松大学 同窓会総会ご案内

- 日時 令和6年11月2日(土)  
13時~
- 場所 高松大学多目的ホール

## 高松短期大学 同窓会総会ご案内

- 日時 令和6年11月2日(土)  
11時~
- 場所 高松短期大学多目的ホール

会員皆様の行事への参加をお待ちしております。同窓会総会等の行事の参加については、右記事務局までご連絡をお願いします。同窓会報への原稿もお気軽にお寄せください。

【連絡先】 学生課 ☎087-841-0864(直)  
E-mail : gakusei21@takamatsu-u.ac.jp

## 高松大学同窓会二十五周年を迎えて



大学 同窓会長

塚本 忠男

高松大学同窓会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

一九九六年に開学した高松大学は、四国に新たな学びの場を創出し、多くの若者を巣立たせてきました。時の流れはあつという間で、私たちが若き日を過ごした大学を卒業してから、既に二十五年が経ちました。あの頃、私たちは卒業を前に、未来への不安と期待を胸に抱きながら、卒業式を迎えたことでしょう。社会に出て、それぞれの道を歩み、様々な経験をしてきたことと思います。仕事に邁進したり、結婚や出産を経験したり、あるいは新たな挑戦をしたりなど、それぞれの道を歩んできた中で、きっと喜びや感動、そして時には苦悩や挫折を味わってきたのではないのでしょうか。そのような経験を経て、それぞれの分野で素晴らしい成果を上げられていることと存じます。

私自身を振り返ってみると、大学時代は私にとってかけがえのない時間でした。共に学び、共に悩み、そして共に喜びを分かち合った仲間たちとの出会いは、私の人生にとって大きな財産です。あの頃、私たちが共に過ごした日々は、今となっては宝物のような思い出です。さて、私たちの同窓会も、これまでに様々な活動を行ってきました。設立以来、同窓会活動として毎年行われている総会などの全体の活動に加え、周年記念行事や発達科学部会、留學生部会、高知支部会、愛媛支部会などの取り組みを通じて、同窓会員相互の関係はますます深まっていると感じております。

高松大学を卒業し、同窓会員として社会で活躍する皆様と再び繋がることができ、大変嬉しく思い、更に、

二十五周年という節目を迎え、私たちは新たな章をスタートさせます。これからも、この同窓会が、私たちにとってかけがえのないものであり、心の拠り所であり続けることを願っています。そして、互いに支え合い、励まし合いながら、より良い社会の実現に向けて貢献できればと考えております。

最後になりましたが、高松大学の更なる発展と同窓会員皆様のご健勝、そして今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

## 高松短期大学同窓会会長の就任にあたって



短期大学 同窓会長

上遠 妙美

高松短期大学同窓会員の皆様におかれましては益々ご健勝で、ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より同窓会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和六年四月から、亀田美幸前会長の後を受けて、会長を務めさせていただくこととなりました。児童教育学科第六期生の上遠妙美と申します。

高松短期大学は、創設された方々の幼稚園及び研究所運営の十数年にわたる経験、研究成果から、「教育の原点は幼児教育にあり」との感を深め、さらには幼児教育における母親と教師の重要性に鑑み、昭和四十四年に開学しました。

創立から早五十五年の歳月が流れ、高松短期大学同窓会は、これまで「同窓生の絆」を引継ぎ、令和六年三月末現在で会員総数一万八百六十名を擁するまでになりました。こうして半世紀にわたって歴史を刻むことができたことは、同窓会員の皆様が多様な分野で活躍されている証であると思っております。

しかし、昨今の少子高齢化の加速、グローバル化やIT技術の急速な進展、雇用環境の変化など、社会情勢の激変により、高松短期大学を取り巻く環境は非常に厳しく、残念なことに、最近では同窓会の新規会員数は減少傾向にあります。

このような中、同窓会といたしましては、「会員相互の親睦を図り、併せて高松短期大学の発展に寄与する」という同窓会の本来の目的を果たし、高松短期大学の発展に少しでも寄与したいと願っています。そのためには地域で活躍されている同窓生のネットワークを構築し、同窓会員の皆様の母校を愛する温かい心とご支援ご協力をいただきながら、母校と共に同窓会がこれから六十、七十周年を迎えることをめざし、精一杯頑張っていきたいと考えています。

是非、同窓会員の皆様におかれましては、母校で紡いだ縁を大切に、母校で出会った友人や教職員の方々のことを思い出し、その縁を次の世代にも繋いでいただく。また、今後の高松短期大学同窓会の更なる発展のため、多くの方の同窓会行事への積極的なご参加と、ご意見ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓会員の皆様のご健康とご多幸をそして益々のご活躍をお祈り申し上げます。

## 同窓生へメッセージ

## 祝！成人！発達科学部



大学 発達科学部 学部長

松原 勝敏

皆さん、こんにちは。元氣でお過ごしのことと思います。

二〇〇六(平成18)年に産声を上げた発達科学部は今年で十八歳、そう、人と言うなら成人です。発達科学部は、卒業生の皆さんが築いてきた歴史や伝統を受け継ぎながら、日々、成長を続けています。

一期生の卒業時には、公立小学校の採用試験合格者



は一名のみでしたが、今では、合格率は八割を超えています。また公立の幼稚園や保育所等への合格者も多くなり、昨年は、高松市の保育教育士合格者のうち、三人に一人が発達科学部の卒業生となりました。もちろん、私立の幼稚園や保育所等でも多くの卒業生が活躍しており、発達科学部は、地域の人材養成機関としての地位を確立しています。

ところで、発達科学部は、創設以来、学生主体の活動を大切にしてきました。その代表となるものが「げんき村わんぱく通り」や「ゼミ連絡会」です。皆さんが大切に育ててきたこれらの活動は、新型コロナウイルス禍のために活動の縮小や停滞を余儀なくされてしまいました。今、発達科学部の学生たちはコロナ禍前の元気を取り戻し、より発展させるために頑張っています。大学祭も復活しました。お時間があれば、是非とも本学にお越しください。そして、元気に頑張っている後輩たちにエールを送ってください。

皆さんとの再会を教員一同楽しみにしています！

## 留学生部会報告

大学 経営学部 マネジメントシステム学科

中村ゼミ（平成十九年三月卒）

大学院 経営学研究科

河野ゼミ（平成二十二年三月修）

令和六年三月三日に、高松大学学生会館一階にて、留学生として在籍していた三十一名と佃学長先生をはじめ教職員十六名が参加し、新型コロナウイルス収束後、七回目となる留学生部会を開催しました。

コロナ禍の前後は生活環境や働き方が随分変わり、たとえ近くに居てもなかなか会えない状況が続いていました。四年ぶりに留学生部会を開催することができました。今回は中国、ベトナム、インドネシア出身の卒業生が、遠くは関東や九州から集い、お互いの交流を深めました。当日は子ども連れで参加する卒業生のために、大学側が予め

キッズコーナーを用意してくださり、大変助かりました。

お昼は大学の近くで卒業生が経営する飲食店から中華料理のパーティメニューをデリバリーして、食事をしながら、久しぶりに会う卒業生や恩師と語り、そして各自の自己紹介、近況報告を行い、あつという間の、楽しく、懐かしい二時間を過ごすことができました。また、今回、初めて参加する卒業生もおり、この部会を機に、新たな接点も生まれました。

高松をはじめ、日本にいる皆さんと同じ学び舎で勉学に励み、今の充実した生活に繋がっていることに感謝し、この場をお借りして教職員の皆様にお礼を申し上げますとともに、高松大学並びに高松大学大学院の更なるご発展を心よりお祈り申し上げます。

## 児童教育学科部会報告

### 四十年経っても色褪せない友情

短期大学 児童教育学科

心理学第二研究室（昭和六十年三月卒）

小西 純子

卒業生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか？新緑の風薫る五月二十六日、高松国際ホテル讃岐の間に、卒業四十年を記念して、『高松短期大学児童教育学科一九八五年卒業生同窓会』を開催しました。

二年前、主人が他界し「逢いたい人に今逢っておかないと絶対後悔する。還暦という節目に同窓会を開い

て短大二年間を語り合っただろうか」と、タカタン仲間と相談しました。心強い友人たちは「やろう。今年実現しなければ坂道を転がるように年齢を積み重ねる、やる気と元気がある今でしよう！」と、賛同いただき計画実行へ動き始めました。

児童教育学科での二年間、当時はこの二年間がのちに自分の内面の大きな礎になることに気付かず過ぎました。私たちは、『建学の精神』に素直に導かれてきたのではないかと思っています。一人ひとり個性豊か、和やかで感動する心や粘り強さ、うちに秘めた情熱を持ち備えた人に成長させていただけだと思います。対話を通して学生の人間性や主体性を育成する高短教育に、改めて感謝しています。

卒業後、連絡が途切れた友人や研究室担当の先生は私たちのことを覚えてくださっているのだろうか、そんな不安と心配は、再会の一瞬で吹き飛びました。ご来賓の佃学長はじめ、当時研究室担当の七名の先生方が出席してくださいました。卒業生は、案内をした二〇四名のうち、四十四名が出席、家庭の事情や仕事の都合で残念ながら参加できなかった三十一名、あわせて七十五名がこの会に心を寄せてくれました。高短愛の強さを感じずにはいられません。タカタンあるピンゴクイズでは、先生方に意地悪な質問をしましたが真面目に答えていただき、会場は大いに盛り上がりました。

一学科同期だけの同窓会の企画は、初めての試みとのことと、短期大学同窓会事務局には、何かとご尽力を賜りました。心より、お礼申し上げます。

恩師と友人たちとの懐かしい再会。そして四十年経っても色褪せない友情に明日からの活力をいただきました。

高松短期大学、ありがとう。タカタン最高です！



# 大学祭

## 11月2日(土)・3日(日)



大学祭実行委員長  
大学 経営学部経営学科二年

山下 鈴湖

十一月二日・三日に『さいあがれ！高松短大祭』祭りだよ！がれ！高松短大祭を開催します。

全員集合！』をテーマに、『さいあがれ！調子に乗る』という意味で、「調子に乗る」という意味で、普段大学生活を頑張っている学生も、そしてそれを支えてくださっている地域の方々にも大学祭くらいは調子に乗って楽しむという意味を込めてこのテーマとなりました。

メインステージでは実行委員が主体となってカラオケやビンゴ等、全員が楽しめる企画を行い、クラブ・サークルが演奏ライブやダンスなど日頃の練習の成果を披露します。そのほか、毎年ご好評をいただいている子ども向けのイベントをはじめ作品展示、読み聞かせ等、様々な企画や体験活動を準備しています。

実行委員会が中心となり、全力で高松大学・高松短期大学の魅力をアピールします。ご家族、ご友人等お誘いあわせのうえ、たくさんの方のご来場をお待ちしております。



大学祭HP



### 各種講座のご案内

地域連携センターでは、オープンカレッジ各講座、高松教養大学、町民大学、コミュニティセンター講座などの多様な講座を開講しています。卒業生の皆さんが、有料講座を受講の場合、同窓会から補助金2,000円(年1回)が支給されます。各講座の詳細はホームページをご覧ください。お申し込みの際に、卒業年度・学部学科をお知らせください。なお、受講料が2,000円に満たない場合の補助金は、受講料の金額となります。皆さんの受講をお待ちしております。



地域連携センターHP

**お問い合わせ先** 高松大学・高松短期大学 地域連携センター  
TEL 087-841-3216(直通)/FAX 087-841-3023【月曜～金曜(祝日除く)9時～17時】  
URL <https://www.takamatsu-u.ac.jp/study/area/>

### 入学センターからのお知らせ

2025年度学生募集は、高校生対象だけでなく、社会人や長期履修、留学生、2・3年次編入学選抜、専攻科、大学院入試など多様な入試を実施します。  
◆社会人の方(2025年4月1日現在で22歳に達している方)は授業料が50%減免となります。  
◆入学検定料免除制度 本学を受験される方の2親等以内(父母、兄弟姉妹など)に、本学卒業生または在籍されている方がいる場合は、申し出により入学検定料が免除になります。

Instagram  
Follow me!!



kasugatanuki



高松大学・高松短期大学 入学センターのInstagram公式アカウントです。高松・高短の日常の出来事を発信しています。フォロー＆いいね！をお願いします。

**お問い合わせ先** 高松大学・高松短期大学 入学センター  
フリーコール 0120-78-5920 【月曜～金曜(祝日除く)9時～17時】

**人事異動**  
採用(令和六年四月一日付)  
〔大学〕経営学部教授・奥原貴士▽同講師・村山昂▽ビジネスデザイン学科講師・水口文吾  
部局長等(令和六年四月一日付)  
大学副学長・出木浦孝▽経営学部長・藤原泰輔▽学生支援部長・神部順子▽学生支援部次長・教務担当・田中弓子▽学生支援部次長(学生担当)・糸目真也▽入学センター長・土井理裕▽情報処理教育センター長・浮穴学慈▽子ども研究所長・横川和章  
退職(令和六年三月三十一日付)  
〔大学〕経営学部准教授・岡田龍哉▽同助教・白濱孝之▽同助教・林一慶▽保育学科准教授・岡谷崇史▽秘書科教授・上村秀樹▽同教授・松田圭司

**ご寄附のお願い**  
本学園は、学生、園児に対する支援充実のため、ご寄附を募っております。誠に恐縮ではございますが、皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
★募集期間 随時受付いたします。  
★申込方法 本学ホームページもしくはお電話にてお申込みください。  
★連絡先 総務部会計課  
TEL 087(841)2161

**◆個人情報取り扱いについて◆**  
会員の名簿管理、会報作成・発送に伴う業務、総会・支部会・部会の案内等について、個人情報保護法を遵守し適切に取り扱います。また、住所・連絡先の変更や改姓された方をご存知の場合は、ご本人から直接事務局に連絡の旨をお伝えください。年々不明者の方が増加していますので、ご協力をお願いします。

同窓会員数(令和6年4月1日現在)  
高松大学 3,155名  
高松短期大学 10,860名